

雪 灯 籠 つ く り

1 活動の概要等

雪の冷たさ・雪の重さ・雪の性質を体で知るとともに、創意工夫をして、協力しながら、1つの作品を仕上げます。

2 時期・時間

2～3時間程度

※用具等は準備してありますので、具体的な活動は各団体で進めてください。

3 準備

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
ボール（大・中・小） コップ 燭台 バケツ 洗面器 チャンカマン、移植ごて スコップ 等	活動に適した服装 帽子 （あまり厚すぎないもの） 手袋 耐風ローソク

4 活動場所

見晴らし広場 冒険広場 すりばち広場 工作館前 等

5 実施例

- ① 見晴らし広場等で、大まかな作り方の説明をします。
- ② 服装や準備物等の確認をします。
- ③ 大きなバケツで灯籠の土台となる部分を積んでいきます。
- ④ 小さなボールやコップ等で、灯籠の細かい部分を作ります。
- ⑤ 燭台を置く場所を決め、全体を移植ごて等で仕上げる。
- ⑥ 風の強いときを考慮に入れ、燭台の周りに風防作るのがポイントです。
- ⑦ 夕方、暗くなってからろうそくに点灯します。



6 留意点

- ・雪灯籠の作製作業は、結構な重労働のため、汗をかくので、脱ぎ着のしやすい服装が望ましいです。
- ・風の強い日等は、ろうそくに火が着きにくいいため、灯籠の構造を工夫する必要があります。

[参考資料]

【雪灯籠 作品例】

